

# 全鉄連流通動態調査結果表 2020年4月分

(2020. 5. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		3月実績	前月比	4月実績	前月比	4月実績	前月比	4月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	6,005	90.5%	40,103	94.9%	40,410	94.2%	5,698	94.9%	
	大阪	2,348	102.2%	15,901	91.9%	16,162	93.7%	2,087	88.9%	
	愛知	2,881	95.6%	5,656	88.8%	5,445	83.8%	3,092	107.3%	
	計	11,234	94.0%	61,660	93.5%	62,017	93.1%	10,877	96.8%	
形鋼	山形鋼	東京	18,340	94.4%	7,802	104.7%	8,193	95.9%	17,949	97.9%
		大阪	20,558	99.7%	8,942	101.7%	8,811	99.5%	20,689	100.6%
		愛知	8,974	105.6%	3,992	71.9%	4,828	95.0%	8,138	90.7%
		計	47,872	98.6%	20,736	95.1%	21,832	97.1%	46,776	97.7%
	溝形鋼	東京	17,757	103.4%	5,586	82.9%	6,266	101.8%	17,077	96.2%
		大阪	10,551	100.2%	5,487	97.1%	5,601	99.4%	10,437	98.9%
		愛知	5,775	96.6%	3,258	93.2%	3,644	98.6%	5,389	93.3%
		計	34,083	101.2%	14,331	90.2%	15,511	100.2%	32,903	96.5%
	H形鋼	東京	32,381	98.8%	14,812	95.7%	16,445	103.7%	30,748	95.0%
		大阪	48,015	105.1%	23,112	89.0%	26,266	111.1%	44,861	93.4%
		愛知	20,196	99.5%	8,351	83.6%	11,493	114.0%	17,054	84.4%
		計	100,592	101.9%	46,275	90.0%	54,204	109.3%	92,663	92.1%
合 計		182,547	100.9%	81,342	91.3%	91,547	104.6%	172,342	94.4%	
コ ラ ム	東京	8,996	105.6%	2,882	86.4%	2,830	99.1%	9,048	100.6%	
	大阪	13,218	91.5%	3,673	121.4%	4,008	94.4%	12,883	97.5%	
	愛知	1,287	101.3%	987	109.5%	1,051	118.8%	1,223	95.0%	
	計	23,501	97.0%	7,542	103.9%	7,889	98.8%	23,154	98.5%	
軽量C形鋼	東京	3,769	102.3%	1,916	83.3%	2,139	96.5%	3,546	94.1%	
	大阪	2,922	99.9%	1,489	90.4%	1,577	95.5%	2,834	97.0%	
	愛知	2,522	104.9%	736	65.0%	1,076	106.0%	2,182	86.5%	
	計	9,213	102.2%	4,141	81.5%	4,792	98.2%	8,562	92.9%	
総 計		226,495	100.1%	154,685	92.4%	166,245	99.5%	214,935	94.9%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。